

子母澤寛作品の系譜と 厚田三部作

石狩市民図書館に開設準備から関わってきた丹羽秀人氏。
同館でユニークな図書館の活動を展開するなかで、
地元の作家・子母澤寛についての詳細な研究でも優れた成果を残してきました。
現在は函館市中央図書館長として魅力ある地域の文化拠点を築きながら、
子母澤寛や祖父・梅谷十次郎とも縁のあるその地でさらに研究を深めています。
新しい研究成果も含め、子母澤ワールドの魅力をたっぷり語っていただきます。



《ルーラン海岸》厚田市街からさらに北にある秘境奇勝の地。

5月20日(日) 14:00~15:30

当館地階講堂 無料

* 要申込・電話で

4月13日(金)

9:00より受付

先着順

定員 80名



丹羽秀人(にわ・ひでと)

1956年北見市生まれ。国鉄職員だった父の転勤で網走、名寄、釧路などで高校までを過ごす。本に関わる人生は、小学校3年生のときに学校の図書委員になってから。桜美林大学文学部卒。学校図書サービス(現 TRC)でキャリアを積み、1997年、市立図書館を計画する石狩市役所へ。石狩市民図書館(2000年開館)開設準備室係長、石狩市民図書館主査。同館副館長。図書館による知とにぎわいの場づくりは、大きな注目を集めた。2015年春、TRCが指定管理者となった函館市中央図書館4代目館長に就任。

* 道民カレッジ【指定講座】ほっかいどう学コース 1単位

展覧会のご案内

特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」 2018年4月20日(金)~6月24日(日)

日本を代表する時代小説家で、『新選組始末記』、『勝海舟』、『座頭市物語』の生みの親・子母澤寛(1892~1968年)の全業績を紹介。

開館時間:午前9時30分~午後5時 *展示室入場は4時30分まで 月曜休館 ただし4月30日(月・祝)は開館し5月1日(火)は休館

観覧料 一般700(560)円 高大生および65歳以上の方450(360)円 小中生300(240)円 ()内は10名以上の団体料金

中島公園

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

TEL 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp/>

●地下鉄南北線中島公園駅(出口③)または幌平橋駅(出口①)

下車徒歩6分 ●市電「中島公園通」停留所下車徒歩10分

●JRバス・中央バス「中島公園入り口」より徒歩4分